

## 第二次諏訪市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

### 【計画の背景】

諏訪市では、平成 26（2014）年 4 月「諏訪市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「第一次実行計画」という。）を策定し、具体的な数値目標を定めて、地球温暖化対策及び再生可能エネルギー導入等の施策を進めてきました。第一次実行計画の計画期間は令和 2（2020）年度まででしたが、第二次諏訪市環境基本計画の計画期間と合わせる形で 1 年延長し、令和 3（2021）年度までとしました。

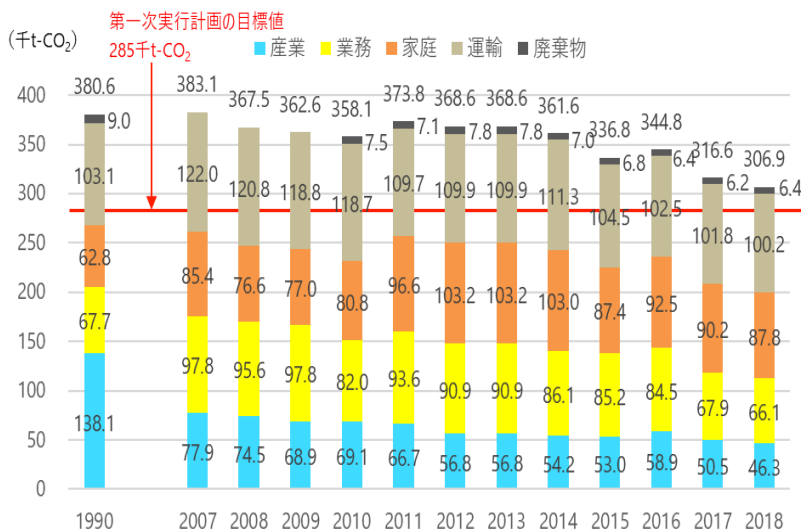
地球温暖化対策を取り巻く状況は大きく変化しています。これらの状況を踏まえ、「第三次諏訪市環境基本計画」に組み込む形で「第二次諏訪市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「本実行計画」という。）を策定しました。

### 【温室効果ガス排出量の推移】

諏訪市全域から排出された平成 30（2018）年度の温室効果ガス排出量は 306.9 千 t-CO<sub>2</sub>でした。平成 2（1990）年度には 380.6 千 t-CO<sub>2</sub>であり、平成 2（1990）年度比で約 19%の削減となっていますが、第一次実行計画で目標とした削減量の令和 2（2020）年度の 285 千 t-CO<sub>2</sub>を 21.9 千 t-CO<sub>2</sub>あまり上回っています。

### 【部門別の温室効果ガス排出量の推移】

諏訪市の温室効果ガス排出量を部門別で見ると、平成 2（1990）年度比で産業部門・廃棄物部門は減少傾向、家庭部門・業務部門・運輸部門は一旦増加しましたが減少傾向にあります。家庭部門は一時平成 2（1990）年度比 164%まで増加し、その後減少傾向にあります。平成 30（2018）年度時点でも平成 2（1990）年度比の 140%となっており、家庭から排出される温室効果ガスの削減が重要となります。



### 【家庭でできる温室効果ガス削減の取組】

- ・使わない電気は消すなどの省エネ対応
- ・エコドライブの実践
- ・4Rの実践（リサイクル＝形を変えて使う、リユース＝繰り返し使う、リデュース＝ごみを減らす、リフューズ＝もらわない）
- ・再生可能エネルギー設備の導入
- ・省エネルギー設備の導入
- ・公共交通機関の利用

取組に費用がかかってしまうものもありますが、省エネやエコドライブ、4Rの実践など一人ひとりの心がけですぐに取り組めることもあります。積極的な取組をお願いいたします。

### 【温室効果ガス排出量の削減目標】

本実行計画における目標値は、長野県のゼロカーボン戦略に準じて、**2030 年度に基準年度（2010）比 56.6%の削減（温室効果ガス排出量 155.4 千 t-CO<sub>2</sub>）**とします。この排出量に諏訪市内の森林によって吸収される量 12.2 千 t-CO<sub>2</sub>を差し引いた合計 143.2 千 t-CO<sub>2</sub>が 2030 年度の CO<sub>2</sub> 排出量となり、長野県の目標に同じく**基準年度（2010）比 60.0%の削減**となります。右図に示した現状すう勢（今後追加的な対策を見込まない数値）での排出量 291.1 千 t-CO<sub>2</sub>から**さらに 37.9%（135.7 千 t-CO<sub>2</sub>）削減**し、目標の達成を目指します。

また、長期的には「2050 年カーボンニュートラル」を目指し、温室効果ガス排出実質ゼロを目指します。

